

AMDA ケニア支援決める

赤痢
まん延

三重のNGOと連携

アフリカのケニアで、ア

メーバ赤痢がまん延してい

るとの情報を受け、国連N

GOのAMDA（アジア医

師連絡協議会、本部・岡山

市）は五日までに、同国へ

の支援を決めた。今回のプ

ロジェクトはアフリカ救援

NGOの「ミコノの会」

（本部・三重県久居市）と

共同で実施する。

AMDAとミコノの会に

よると、ケニアのコースト

州タナリバー県マドゴ地区

で、今年九月上旬から下痢

症状の患者が増加。十月に

なり、百人以上の患者が赤

痢と診断された。現地の地

元医療機関などが、診療所

のほか簡易テントでも治療

にあたっているがベッドが
足りない状況だという。

当面、AMDAはナイロ

ビ事務所を通じて十万円相

当の医薬品を提供。今後の

状況に応じて医師団の派遣

を検討する。

AMDAは現在、支援金

を募っている。応募先は

「ケニア赤痢緊急救援医療

プロジェクト」。郵便振替

012501214070

9。加入者名「AMDA」。

通信欄に「赤痢」と記入す

る。